

市内で学びたい、働きたい人を応援する奨学金制度が充実。

ICT機器やリモート授業を活用し、児童一人ひとりに合わせた教育を進め、確かな学力が育まれている。

不登校やいじめの問題に積極的に取り組み、魅力ある学校になった。

障がいのある児童・生徒の個性を尊重する学びの環境が整っている。

2030年、市民の実感

# 夢は叶うって思う

市立図書館、学校、家庭で子どもが本に親しんでいる。

不安や悩みを抱える子ども・若者の居場所づくりや自立に向けた支援が充実。

「おやがく親楽プログラム(※)」が活性化！親同士のつながりができて、子育てに前向きになった。

おやがく  
※親楽プログラム…保護者などを対象に親としての役割や子どもとのかかわり方について学ぶプログラム。

将来？

皆美が丘女子高では大学とのカリキュラム連携により実社会への対応力を修得。

NPOでは、子どもたちに多様な場と機会をつくっている。

ふるさと教育が充実。子どもたちが松江の未来や自分の将来を考えたり、話し合ったりしている。

## 目標

将来の夢や希望を持っている児童・生徒の割合

小学生87.0% | 中学生72.0%

## 松江のチャレンジ

●ICT機器(※)の活用を通じ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす教育を推進します。

※ICT機器…情報通信技術の機器。PC、電子黒板、携帯電話など。

●英語によるコミュニケーション力を育て、海外の文化や言語に触れる機会を増やします。

●県教育委員会や大学などと連携して、読み書きに困難を抱える児童・生徒の指導・支援を拡充します。

●伝統文化芸術など、松江の魅力ある地域資源を活用した学習プログラムを構築します。

## 私のチャレンジ

